

戒師と戒弟

をたてます。 を受け持ち、仏教の教えにしたがって今後の人生を歩んでいこうという誓い参加者を「戒弟」とお呼びします。戒師のお導きにより戒弟は自発的に戒法授戒会では、戒法を授けて下さる高徳の老師を「戒師」、受けていただく

大切な証として戒師より授けられます。修行の実践を通して、戒弟の皆様が戒法を正しく身に付けられたことを表すじ仏様のいのちが一貫して相続されていることを意味します。五日間の仏道 一本の朱線で貫かれています。これは、お釈迦様から戒弟にいたるまで、同釈迦様から歴代のお祖師様方、そして戒師と戒弟のお名前が書かれており、授戒会の最後に、戒弟は戒師より「お血脈」を授かります。お血脈にはお

身 新潟県曹洞宗青年会 http://niigata-sousei.jp/

かい

の授戒会こそが正しい道への入り口となるのです。

さず ほう 戒法」を授かる授戒会 それが様々な恩に生かされている私達の正しい道であるということです。 るべし」とあります。日々の生活の中で御仏の教えを実践し持続すること、 を身に付けて頂きます。 道修行を重ねます。その実践を通して皆様に仏教徒としての日暮しのあり方授戒会では、お寺を会場として五日間の聞法、礼拝、坐禅、食事などの仏 「戒法を持つ」という生き方は、その苦しみから離れ心穏やかな日々を送る ための道しるべとなります 人生において私たちは常に多くを求めすぎるがゆえに悩みを抱えます。 曹洞宗の修証義というお経の中に「唯当に日日の行持、其の報謝の正道なそうとうしょう しゅしょうぎ

らかになった身と心で戒法を受けます。そのような自我を自覚し認めることが懺悔であり、自分自身をも苦しめてしまうということがあります。 心的な行動・言葉・思いが、気付かぬうちにまわりの人々を傷つけ、に犯した罪を悔い改めるだけではありません。日常の中では、私達の授戒会では、戒法を授かる前に「懺悔」をいたします。懺悔とはたじまが、 日常の中では、私達の自己中たします。懺悔とはただ過去 戒師のお導きによっ て清

私は今、それら一切を懺悔いたします。それは、行動、言葉、思いから生まれます。すべて、貪り、瞋り、痴さによるものです。私が知らず知らずに作ってきた色々な過ちは私が知らず知らずに作ってきた色々な過ちば

「菩薩戒」とは、と呼ばれています。 に境目のない「共に生きる」ということが仏教の慈悲の実践であり、「菩薩戒」とは、すべての繋がりを大切に生きるという教えです。 それが

曹洞宗の戒法は「三帰戒、三聚浄戒、十重禁戒」を合わせた十六条で「菩薩戒をうとうしょうかいはうかいとようかいとようじょうきんかい

同時に私達の幸せにも結びついていくのです。

仏様の教えを実践し修行する人々を仏様の教えをよりどころと致します。

する人々をよりどころと致します。

かい

戒

薩

菩

い事は致しません

世の中のすべての人善い事を致します。

の人々の為、 社会の為に役立つことを致します

のの生命を大切にする

うそ偽りを言わない。 盗みや不正を犯さない

人の過ちを言いふらさないの酒に溺れない。

物でも心でも与えることを惜しまな 己の自慢、他人の悪口を言いふらさない

い怒りに自分を失わない

・僧の「三宝」をそしらない。

「戒法」とは、お釈迦様が示された心豊かな信仰生活を送るための教えです。